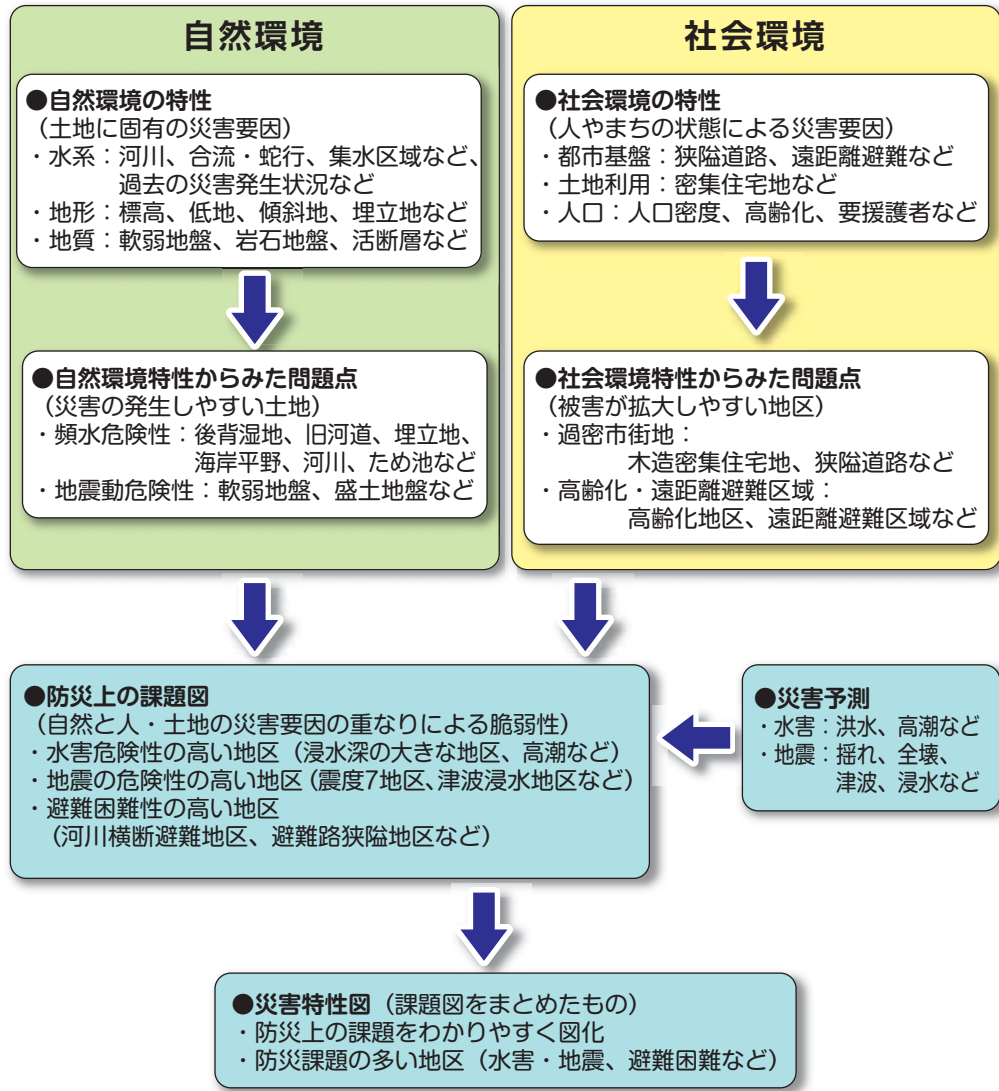




今の町並みよりも、土地の性質を理解することが大切である

- 地震には2種類があり、海溝型地震と直下型地震である。海溝型地震は一般にマグニチュードが大きく、津波を伴い、被害の範囲が広くなる傾向にある。直下型地震はマグニチュードが海溝型に比べて小さいが、都市直下で起こるため被害が大きくなることもある
- 海溝型地震では、長周期地震動が被害を大きくしやすく、高層建築などでの被害が大きい傾向がある



**C 人土地や街の環境を知る**

地域の環境を知ることが、防災の出発点である

環境には、土地、地盤高などの自然環境と、人口や土地利用、道路状況などの社会環境などがある (左図を参照)

**D 災害予測** (見直し中)

**E 土地・街の災害特性(危険性)**

災害の発生しやすい土地には、特に低平な地形での浸水や、軟弱な

地盤などでの地震動被害があげられる

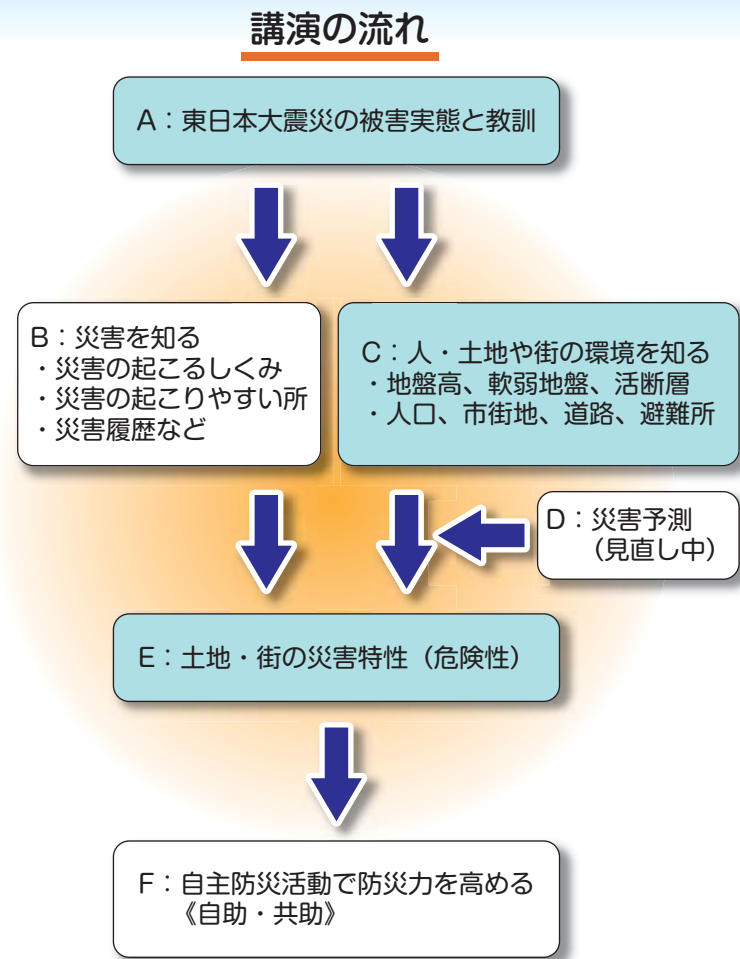
被害が拡大しやすい土地には、過密市街地や高齢者の多い街、遠距離避難地区などがあげられる

防災課題には、水害に対して脆弱な土地、地震に対して脆弱な土地などがあげられ、地域によってその内容や重なり方は異なる

**F 自主防災活動で防災力を高める**

地区の災害特性を理解し、地区の課題に合った解決策をとることが、自主防災の基本である。他の地区での取り組みは参考にはなるが、そのまま自分の地区での取り組みに当てはまるとは限らない

地区のコミュニケーション力を高めることが、自助・共助の基本である



**A 東日本大震災の実態教訓**

東日本大震災の津波の被害は、それぞれの土地の地形、海岸線の形、海の深さなどが異なっていることから、被害や浸水区域が異なっていた

津波の浸水区域は、同じ平野でもより低平な氾濫原が中心で、氾濫原よりわずかに地盤の高い自然堤防や扇状地などでは、浸水しないうえ、浸水しても被害は軽微であった

宮城県松島町の海岸では、津波被害が軽微な箇所がみられた。これは、湾口部の島々が防波堤の役割を果たしたものと推定される

大津波警報は地震発生から3分で発令されたが、その高さは3メートルあり、現実の津波の高さとは大きくかけ離れていた。これは、速報値のマグニチュードが7.9と計測されたことから3メートルの警報となった

実際には、28分後に6メートル、45分後に10メートル、大津波警報が更新されたが、被災地の住民には、停電のため伝わらなかった

群馬大学の片田教授の調査結果に

**B 災害を知る**

水害には2種類があり、外水氾濫と内水氾濫で、その起こり方は異なる

水害は地域に関わる河川の上流域の広がりを知り、その地域での気象状況などにも注意する必要がある

水害の被害を少なくするには、浸水前の避難が有効であり、浸水後の避難は危険を伴う

自宅の地盤高を知り、最寄りの河川や海面との高低差を知ることによって、浸水しやすさがある程度判断することが可能である

氾濫原の土地が都市化しても、浸水しやすい性質は変わっていない。

去る12月15日、株式会社ランドシステムの岡本茂氏を講師に迎えて、平成24年度の播磨町自主防災組織合同研修会を実施しました。

当日は、自主防災組織の皆さまをはじめ、消防団など関係団体、関心を寄せる住民など約160人の参加がありました。

防災・減災は地域に住む多くの人が共通の認識をもって取り組むことが大切との考えから、ここに、研修会の内容を抜粋して皆さまにお伝えします。

▼問合せ 危機管理グループ ☎079(435)0991

# 播磨町自主防災組織合同研修会 『地域の災害特性を知って、防災・減災を考えよう』



**【用語解説】** 外水氾濫：川の水が堤防から溢れる、あるいはそれによって川の堤防が破堤した場合などに起こる洪水のこと  
内水氾濫：市街地に降った雨が雨水処理能力を超える、あるいは川が溢れかかっていることでポンプで捨てられないということで水が溢れること

**【用語解説】** 氾濫原：洪水時に流水が河道などから溢流して氾濫する範囲の平野を指す。すなわち谷底平野・扇状地・沖積平野・三角州などのうちで洪水に浸水する範囲全部を指す。





## 消防車による「火災予防啓発パレード」を実施します

▶問合せ 危機管理グループ ☎079 (435) 0991

播磨町消防団は、春季火災予防運動週間に合わせて3月3日(日)午前9時30分から全ての消防車が隊列を組んで町内をパレードする「火災予防啓発パレード」を実施します。

## 春季火災予防運動週間 3月1日(金)～7日(木)

▶問合せ 加古川市消防本部予防課 ☎079 (427) 6532

「消すまでは 出ない行かない 離れない」  
春先は季節風が強く、空気も乾燥し、火災の起こりやすい状態が続きます。  
火の使用には、十分ご注意ください。

## 消防団員 募集中

「守りたい。地域の絆と、  
未来に繋がる笑顔」

▶問合せ 危機管理グループ ☎079 (435) 0991



消防団員  
のやりがい  
は、地域に  
暮らす自分  
自身が、地  
域のために  
働き、身近  
な人の役に  
立てること。  
そして、年  
齢も職業も様々な仲間と出会い、  
人としても大きく成長していける  
ことにあります。  
播磨町の消防団員は、現在351  
人(内女性団員20人)で、火災  
発生時の消火活動、地震や風水

害の災害発生時の救助・救出活  
動などに従事し、地域住民の生  
命・財産を守るために活躍して  
います。  
また、災害発生時だけでなく、  
平常時においても訓練・防災・  
防火に対する啓発活動を行い、  
防災力の向上に貢献しています。  
播磨町消防団では、このよう  
な地域安全の「縁の下の力持ち」  
としての消防団員を募集してい  
ます。年齢が18歳以上50歳未  
満で、町内に居住している方であ  
れば入団できます。あなたも、  
地域のために、いっしょにがん  
ばりませんか。



【最優秀】播磨南中学校3年 玉垣 歩さん  
色も美しく、よく考えて塗っており、完成  
度の高い作品です。中央の少女が、「1月17  
日を忘れない」という象徴になっているので  
はないか。また、画面の左右で、地震前と地  
震後を表現しており、構構がよく練られてい  
ます。

11月8日から1月8日に、石ヶ池公園パー  
クセンターで、また1月15日から29日に中央  
公民館で展示していました。防災ポスター展  
での、入賞者が次のように決まりました。

## 平成24年度 播磨町防災ポスター展入賞者の発表

▶問合せ 危機管理グループ ☎079 (435) 0991



【優秀】播磨西小学校6年 山田 信仁くん  
地震の状況をこまめに表現しようとしていま  
す。「ゆれている」「たおれている」などの様子  
がよくよみとれる作品です。



【優秀】播磨中学校3年 有角 健太くん  
炎に迫力があり、地震による被害のこわさ  
が、うまく表現されていると思われます。

## 津波警報が変わります！

▶問合せ 神戸海洋気象台業務課 ☎078 (222) 8907

気象庁が発表する津波警報や津波情  
報の内容を、3月7日(木)から次のよ  
うに変更します。

### 【予想される津波の高さ】

- マグニチュード8を超えるような巨大地震の  
場合は、「巨大」、「高い」という言葉で発表し  
て非常事態であることを伝えます
- 正確な地震の規模が分かった場合は、予想さ  
れる津波の高さを5段階の数値で発表します
- 予想される津波の高さは、危機感を伝えるた  
め、それぞれの発表基準の高い数値を発表し  
ます

### 【津波観測に関する情報】

- 高い津波が来る前は、津波の高さを「観測  
中」として発表します
- 沖合で観測された情報をいち早く伝える情報  
を新設します

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、 直ちに高台や避難ビルなど 安全な場所へ避難してくださ い。津波は繰り返し襲ってくる ので、津波警報が解除され るまで安全な場所から離れな いでください。
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わずより高 い場所を目指して避難しまし ょう！
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに 海から上がって海岸から離れ てください。津波注意報通 報が解除されるまで、海に入 ったり海岸に近づいたりしな いでください。

※津波警報などを見聞きした場合、ただちに避難をすることが重要  
ですが、海のそばで「強い揺れ」や「長くゆっくりとした揺れ」を  
感じた時も、津波が襲ってくると考えて自らの判断で、ただちに高  
い場所へ避難することが重要です。

### 自衛官募集

- ①予備自衛官補 一般…18～34歳未満、技能…18歳以上で国家免許資格などを有する者
- ②自衛隊幹部候補生 一般・技術…22～26歳未満、歯科…専門の大卒(見込み)20～30歳未満、  
薬剤…専門の大卒(見込み)20～26歳未満

## 3月は引っ越しの多いシーズン 家具の転倒防止などの対策を!!

▶問合せ 危機管理グループ ☎079 (435) 0991

地震時には、家具や家電の転倒・  
落下によりケガをするだけでなく、  
転倒した家具などにより避難  
路がふさがれることもあります。

近年発生した大地震では、3割  
から5割の方が家具・家電の転倒  
落下やガラスの飛散によりケガを  
しています。

こうした被害は、家具・家電の  
配置を換えたり、転倒防止器具の  
取り付けやガラス飛散防止シート  
の貼り付けにより防ぐことができ  
ます。この機会に、自宅やオフィ  
スのレイアウト変更の際には、こ  
れらの対策を行う絶好の機会です  
ので、地震に備え、ぜひ取り組ん  
でください。

### 加古川市消防本部 親子防災教室

地震、消火、煙避難、消防車  
放水、高所活動車乗車、非常食  
試食などの体験を通じて、防災  
を学んでみませんか。  
▼日時 3月20日(祝)  
▼日時 午前9時30分～11時45分

▼場所 加古川市防災センター  
▼対象 小学生とその保護者  
▼定員 先着20組  
▼費用 無料  
▼申込み・問合せ 3月6日(水)  
午前9時から受け付けます  
加古川市消防本部予防課  
☎079 (427) 6530



### 加古川市防災センター 普通救命講習会(Ⅲ)

小児、乳児、新生児を対象と  
した救命講習です。  
心肺蘇生法、AEDの使用方  
法、異物除去法及び大出血時の  
止血法についての内容です。受  
講者には、修了証を交付します。

▼日時 3月23日(出)  
▼日時 午前9時30分～12時30分  
▼場所 加古川市防災センター  
▼対象 播磨町、稲美町、加古  
川市に在住または在勤の人  
▼定員 先着30人  
▼費用 無料  
▼申込み・問合せ 3月7日(木)  
午前9時から、電話で受け付け  
ます。月曜日、3月17日(日)、20  
日(祝)は受け付けできません  
加古川市防災センター  
☎079 (423) 0119

▶受付期限 ①4月3日(水)②4月26日(金)▶一次試験日 ①4月13日(土)～14日(日)の1日 ②5月  
11日(土)筆記試験、5月12日(日)適正検査(飛行要員希望者のみ)  
▶入隊・入校 平成26年3月下旬 ▶申込み・問合せ 自衛隊兵庫地方協力本部☎079 (426) 3290